



ツムラの判断基準

製薬業界を取り巻く環境は、常に変化しています。一方、ツムラグループのプリンシプル「順天の精神」は、創業から不変の原理・原則です。順天とは中国の古典「易経」に記された言葉で、「天の意志に順（したが）う」という意味があります。私たちは、「天」を大いなる自然と捉え、自然の理法に則って正しく事業を行う姿勢を大切にしています。明治時代、医療へのアクセスが難しかった女性に寄り添う「中将湯（ちゅうじょうとう）」という婦人保健薬の製品化がツムラの原点でした。一人ひとりの心身の調和を、活力ある社会の形成につなげていく、つまり公益性をとまなう成長を、創業当時から志向してきたのです。

2022年4月には、当社グループの理念体系である「TSUMURA GROUP DNA Pyramid」を刷新しました。50～100年先を展望したヘルスケアの未来と、創業の原点を結ぶ社会的使命として「一人ひとりの、生きるに、生きる。」をパーパスに制定し、「順天の精神」と

もにピラミッドの上位に位置づけました。加えて、「自然と健康を科学する」という経営理念および企業使命をピラミッドの中位に据え、理念に基づく経営を実践しています。同時に、当社グループのサステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」と、次なる10年に向けた長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」を策定。一人ひとりの心身と社会のwell-being、個人と社会が“Cho-WA”（調和）のとれた未来を実現する企業グループになるために、130年の伝統を堅持しながら革新を続けています。

私たちは日々の業務で、上記のプリンシプル・パーパス・理念・ビジョンに基づいたさまざまな判断を下しながら、医療アクセスの拡大や健康寿命の延伸など、社会的価値の創造に努めています。